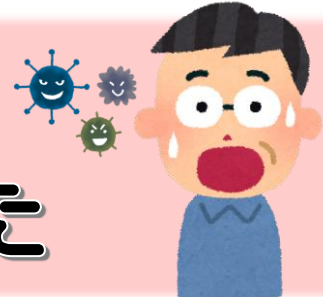




インフルエンザが 県内で流行入りしました




かからない！うつさない！

インフルエンザウイルスに感染すると、**38℃以上の発熱、喉の痛み、頭痛、関節痛・筋肉痛**が急に発症します。
急性中耳炎、肺炎、脳症などの合併症をおこして重症化する場合がありますので、症状を自覚したら速やかに医療機関を受診しましょう。
日本では、12月～3月に流行することが多く、毎年多くの方が発症しています。かからない、そして周りにうつさないために一人ひとりが気をつけることが大切です。



風邪とインフルエンザの違い

	風邪	インフルエンザ
 症状	鼻水やのどの痛みなどの局所症状は比較的緩やかに出現	38℃以上の発熱、せき、のどの痛み、全身倦怠感、関節の痛みなどの全身症状が急激に出現
流行の時期	一年を通してかかることがある	1月～2月に流行のピークがある。その後4月～5月まで散発的に流行することもある。

ウイルスから体を守る5つの対策

